

# 文献ゼミ

『建築論』 森田慶一著

西洋建築思潮史

1 古代ギリシアの建築思想

p.161-p.171

# 「architectonice techne」

**architecton** : 原理 arche + 工匠 tecton

**techne** : 術  
「技術」 「芸術」

物一般をつくり出すこと = 「制作」

「制作」 poiēsis

## プラトン 紀元前427-347

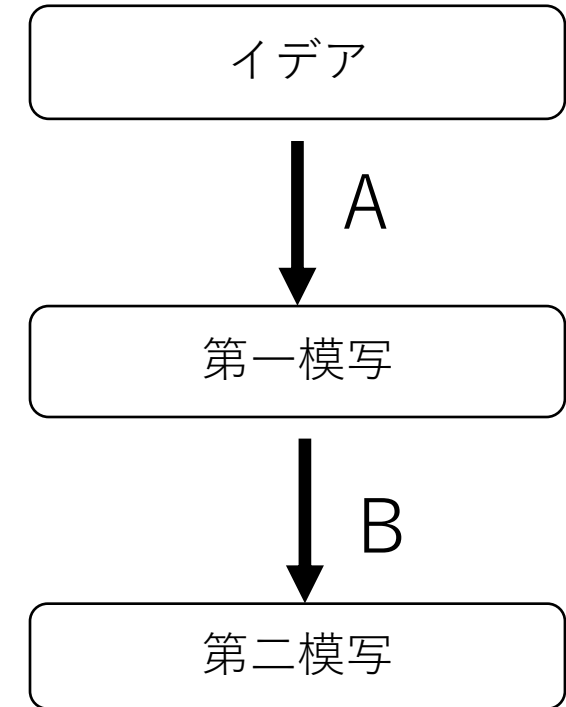
あらゆる存在の本源としてアイデアを想定

A：神及び人間の製作能力によるアイデアの模写

第一模写：音楽・建築・器具

B：仮象の模写

第二模写：絵画・彫刻



**建築 > 模倣芸術（絵画・彫刻）**

**アリストテレス** 紀元前384-322

本源アイデア論 形相質料

絵画・彫刻：「模倣芸術」による「快」の生起

**建築／模倣芸術（絵画・彫刻・詩）**

建築 = 「**原理**を知る工匠の技術」

**ソクラテス** 紀元前469-399

真、善、美

真か偽か（認識）

善か悪か（倫理）

美か醜か（審美）

「**秩序 taxis**」

混沌 chaos から事物を分かち定立

建築 = 「**原理**を知る工匠の技術」

「**シュムメトリア symmetria**」

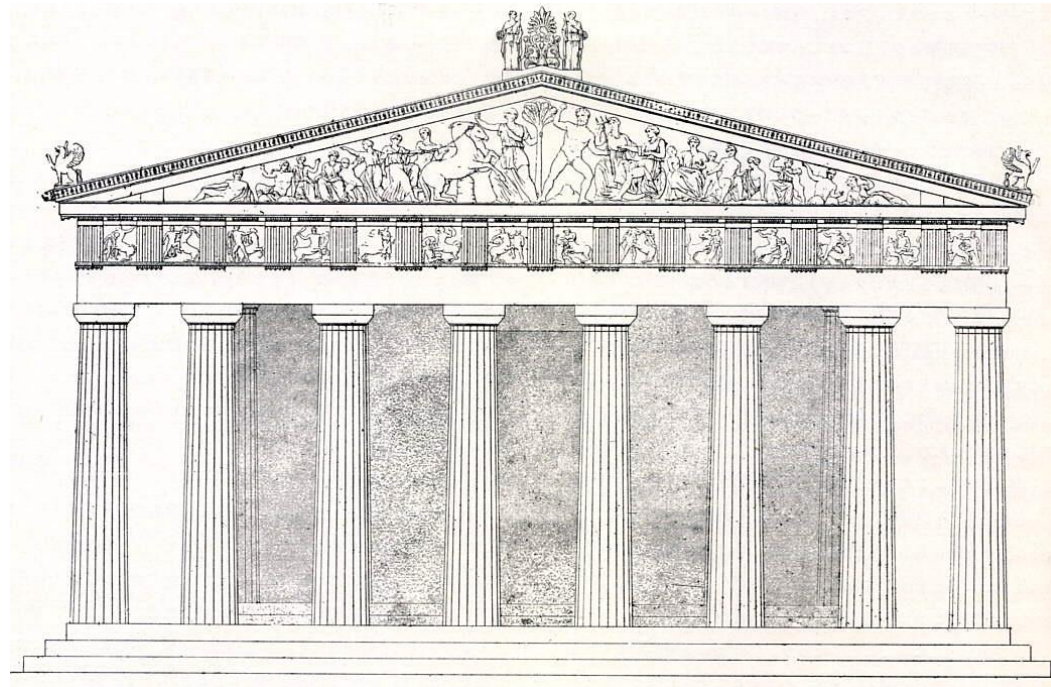
タクシスを第一原理とした  
造形における核心的な数的秩序原理・量的概念

「**限定 horismenon**」

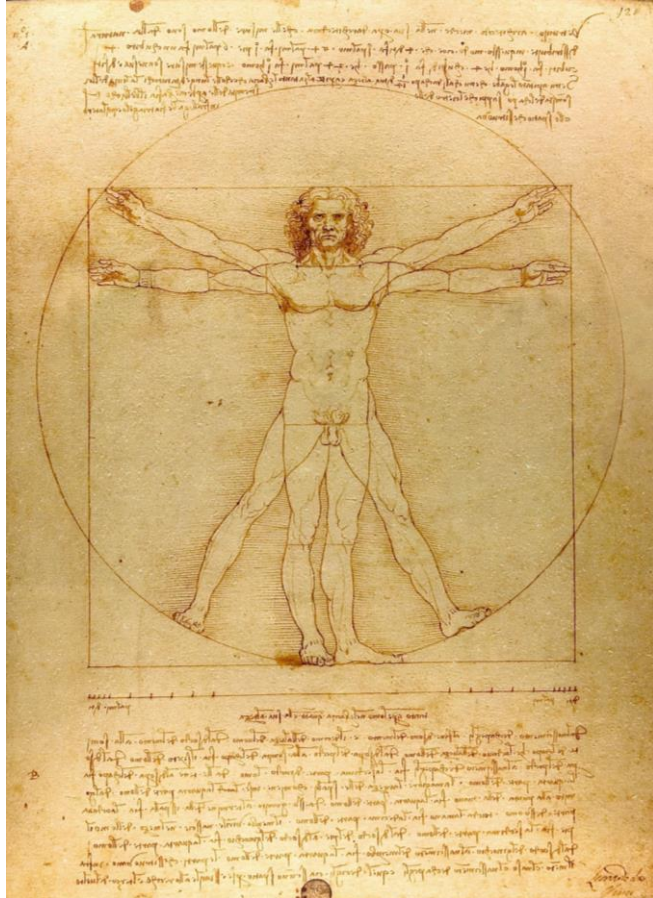
美は大きさと秩序のうちにある——アリストテレス

# 「シュムメトリア」

理性  
調和 harmonia



アクロポリスパルテノン神殿(BC438完成)



## ウィトルウィウス

シュムメトリアを具体的に数値化

「かれらの本旨はシュムメトリアをそのような造形の手段にするのではなく、あくまで造形の原理にすることにあった。」 p.167 I.9

『ウィトルウィウスの人体図』  
作者：レオナルド・ダ・ヴィンチ  
製作年：1487年頃



## ディアテシス diathesis

「場所に関する秩序」を示す原理——アリストテレス

### 感性

眼が追うに快い「肢体のリズミカルな配置」

建築造形における

内在的原理：シュムメトリア、リズム

存外的原理：**効用性（用途）**

## **コスモス kosmos**

「用」に即する秩序の原理

「taxisとkosmosをもって造られた家は有用であり、無秩序な家は悪い家である」——プラトン

## ギリシア建築における「用」

アリストテレス

- 1、財産の収蔵・監理
- 2、居住者の健康の保持
- 3、居住者の日常生活の快適さ

**外からの秩序を原理的に建築に要求  
未分化の用と美**

ギリシア建築造形

**理性**

**秩序原理・調和**

**「制作」の身構え**